

授 業 概 要

授業のタイトル (科目名) 更生保護制度		授業の種類 (講義・演習・実習)		授業担当者 濱田 新	
回数 8回	時間数 (単位数) 1.5時間	配当学年・時期 1年 前期		必修 ・ 選択	
【授業の目的・ねらい】 更生保護制度について理解するとともに、再犯を繰り返す高齢者・障がい者に対する支援の在り方について習得する。また、犯罪・非行をした人を支援する更生保護に、社会福祉士による福祉的支援、そして共生社会の在り方について習得する。					
【授業全体の内容の概要】 更生保護制度の概要を理解し、更生保護制度の担い手、関係機関・関係団体との連携、医療観察制度の概要、更生保護の実際と今後の展望について学ぶ。					
【授業修了時の達成課題 (到達目標)】 <ol style="list-style-type: none"> 1. 犯罪者の社会復帰に向けて社会福祉士が果たす役割について説明ができる。 2. 更生保護法に基づく更生保護制度の概要について説明ができる。 3. 更生保護の担い手、関係機関との連携、少年司法との関係について説明ができる。 4. 被害者等支援制度、医療観察制度について説明ができる。 					
【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】 <ol style="list-style-type: none"> 1. 更生保護制度の概要 2. 更生保護制度の担い手 3. 更生保護制度の関係機関・団体との連携① 4. 更生保護制度の関係機関・団体との連携② 5. 医療観察制度の概要① 6. 医療観察制度の概要② 7. 更生保護の実際と今後の展望 8. まとめ、国家試験過去問/国家試験対策/試験範囲説明 <p>前期末試験</p>					
【使用テキスト・参考文献】 新・社会福祉士養成講座 「更生保護制度」 中央法規 社会福祉小六法2021 [令和3年版] ミネルヴァ書房			【単位認定の方法及び基準】 授業態度、試験、出席状況から総合的に評価し、単位認定を行う。下記の記載内容も留意すること。 ※1 試験の評価基準：6割以上の成績にて合格。 ※2 出席の評価基準：欠席が多い場合には、前期試験の受験資格が得られない。また、単位認定も行わない。		